

『帰宅困難者支援施設運営ゲーム(KUG)』

大阪市 各事業所実施版

手引き編

～自社の従業員・来所者等の安全確保のために～

手引き編 目次

① プログラムについて

② 準備するもの

③ 準備物の配置イメージ

④ はじめましょう！

① プログラムについて

「大阪市 各事業所実施
版」

では次の①～⑤のワークを
プログラムしています

- ワーク① 施設内の従業員等の安全確認
- ワーク② 体制の検討・確認
- ワーク③ 施設内の配置の検討・確認
- ワーク④ 待機方針の検討・確認
- ワーク⑤ 想定されるいろいろな課題の検討

プログラムの組み立てについて

★標準プログラムはワーク①から⑤までの80分程度の組み立てになっています。

★各事業所の状況に応じて、プログラムを組み立てることも考えられます。

例1 待機方針等は決まっているが、施設内の配置の検討が十分でない場合
ワーク③の検討を中心に、ワーク⑤の課題を検討して施設内の配置について
計画を確定

例2 自社の計画をブラッシュアップするため、ワーク⑤の課題のみ実施

例3 実施できる時間が限られているので、ワーク⑤の課題（10の課題を想定）の
うち3つの課題を選択して検討

など

～実施できる時間にあわせてプログラムを組み立てましょう～

② 準備するもの

- 「大阪市各事業所実施版」(PDF資料)
を参加人数分印刷、またはファイルを共有
- 自社に施設内待機に関する計画等がある場合、
その計画
- 自社の従業員等の名簿(災害時の安否確認用のもの
がある場合はその名簿)
- 自社の配置平面図(災害時の施設内待機に関するレイ
アウトが記入されている図面がある場合はその図面)
- 自社の備蓄物資の一覧
- (記録用) メモ用紙、筆記用具

※名簿、配置平面図等がない場合はキットを活用(次ページ参
照)

※キットを使う場合

エクセルファイル 「●ゲームキット集」
に次の順に各シートに入っています。

ゲームキット①

シート「①従業員等仮想名簿（50%出社）」

ゲームキット②

シート「②仮想平面図」

ゲームキット③

シート「③仮想待機方針」

ゲームキット④

シート「④仮想備蓄物資一覧」

★それぞれ印刷して使いましょう。①はデータ上で確認しながら行うことも考えられます。②は参加者と一緒に確認できるような大きさで打ち出しましょう。エクセルファイルには、①から④のほかに、「イベント一覧」「対応記録用紙」も入れています。必要に応じて活用してください。

(参考) 【キットの仮想会社の想定】

- * 複数路線が乗り入れる「なんば駅」より徒歩1分に立地
- * 制震構造の高層ビル(30階建)の高層階(27階)に入居
- * 特に災害時の業務は発生しない。
- * 役職員200名(役員、正社員、契約社員、派遣社員、パート従業員含む)、男性108名、女性92名
- * 本社事業所の1フロアでの対応
- * 安否確認システムを導入済み。従業員だけでなく、家族の安否も登録するよう、日ごろから繰り返し訓練を実施している。
- * 従業員人数×3日分の水・食料・簡易トイレのほか、簡易組み立て式便座、エアーマットなどを多めに備蓄。一部をリュックサックに入れ、予め従業員に配布し、個人管理させている。

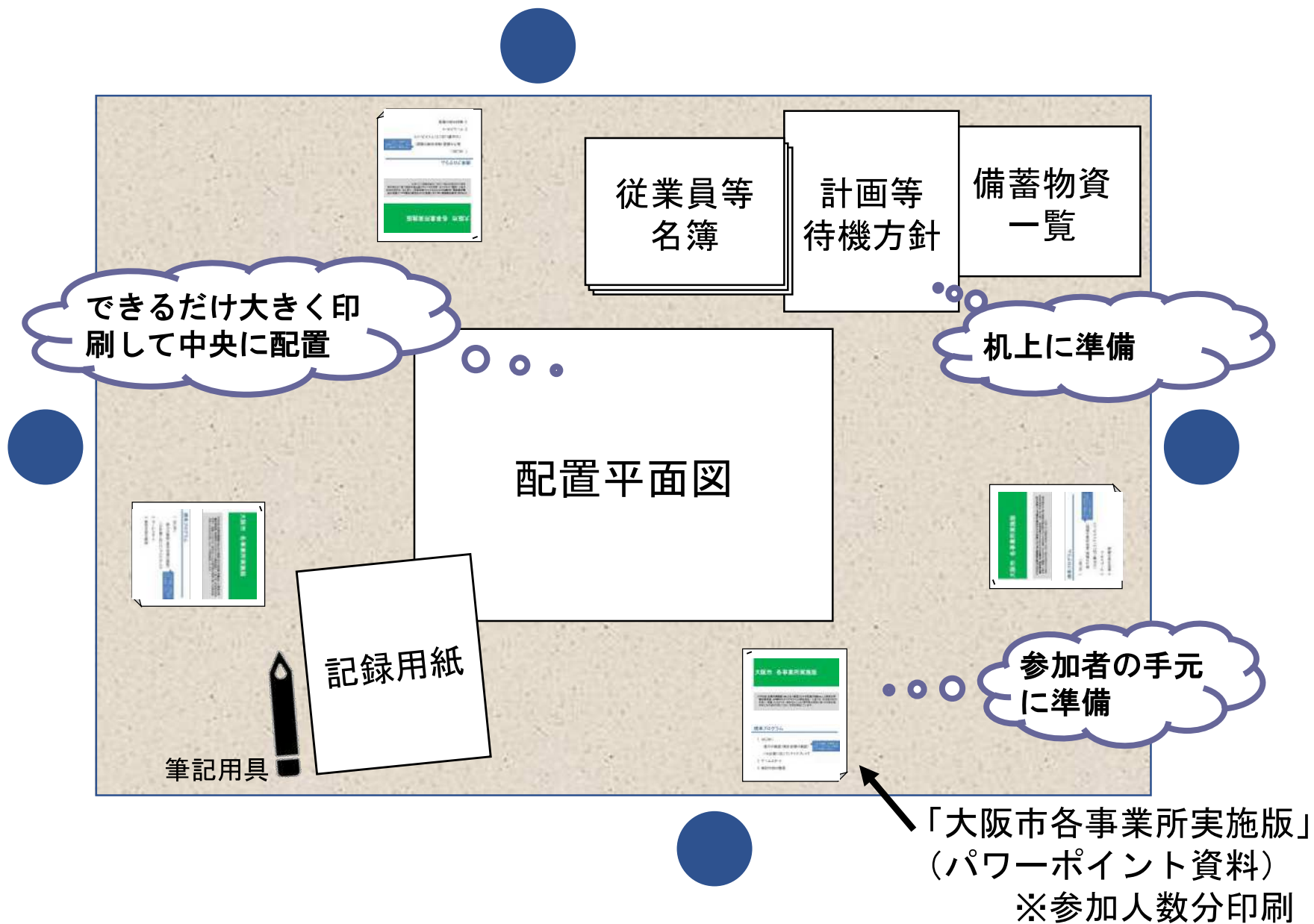
(参考) 【仮想会社の出社の想定】

新型コロナウイルス感染症の流行状況について

- 都市部を中心に、新型コロナウイルスへの感染者が微増傾向にある。
- 事業場においては、3つの「密」を避ける、手洗い・手指消毒の励行、各業界のガイドライン順守等、感染対策をしながらの営業継続が求められている。
- 仮想会社では、在宅勤務を推進し、本日の勤務状況は以下の通りである。

項目	想定
出社率	約50%
出社人数（在館）	計101名（男53名、女48名）
在宅勤務者	82名
外出者	10名
休暇・欠勤	7名
来所者等	6名

③ 準備物の配置イメージ



④ はじめましょう！

- 「**大阪市 各事業所実施版**」 (PDF資料) に沿って進めて いきましょう！
3ページめから「ゲームスタート」です。
- まずは、災害想定を確認します。
 - ① 上町断層帯地震の場合の自社所在地の想定震度を5ページめの に記入します。 (※参考資料②参照)
 - ② 6ページめの概略図に自社の位置を記入します。
- 組み立てたプログラムに応じて、資料に沿って「ワーク」をはじめましょう。